

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

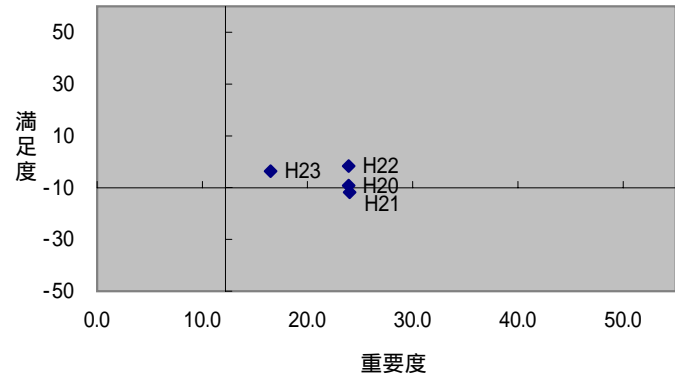
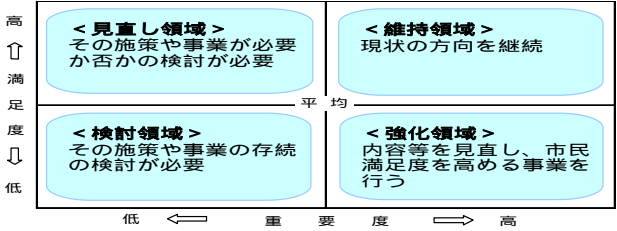
施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	02-02-01	作成者	保健課長
		役職		氏名	有吉隆之
		電話	64-1819	このシート作成に要した時間	1.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを産み育てるようにする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、公衆衛生の向上や医療技術の進歩により、多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域における子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など新たな問題も発生している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子手帳交付、育児相談事業、妊婦及び乳幼児の健康診査、乳児全戸訪問など) 感染症予防(予防接種) 生活習慣病予防(食育) 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	23.9	24.0	23.9	16.5
満足度(%)	- 9.2	- 11.8	- 1.7	- 3.6



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは、家庭や地域に教育力があるところと多くの市民が認識している。「安心して子どもを産み育てることができる」と感じている市民の割合は、H21年12.4%、H22年17.4%、H23年20.2%と低い値ながらも、漸増している。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	H23	95.0
	実績	%	82.7	84.8	84.4	H28	95.0
	達成率	%	91.9	94.2	93.8	-	-
	ベンチマーク		85.7	85.9	岡山県の受診率	-	-
参考指標 3歳児検診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	H23	95.0
	実績	%	96.8	98.0	95.5	H28	95.0
	達成率	%	101.9	103.2	100.5	-	-
	ベンチマーク		95.0	96.3	岡山県の3歳児麻疹接種率	-	-
参考指標 3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	H23	2.0
	実績	%	5.9	5.0	5.9	H28	2.0
	達成率	%	295.0	250.0	295.0	-	-
	ベンチマーク		5.4	5.9	岡山県の3歳児肥満率	-	-
参考指標 3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	H23	10.0
	実績	%	6.4	7.5	10.5	H28	10.0
	達成率	%	64.0	75.0	105.0	-	-
	ベンチマーク		-	-	-	-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数		直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算 (直接事業費)
1 乳幼児等健康診査事業	B	健康被害予防事業	補助	1,158	2,924	0.52	1,132	2,982	0.48	1,132	2,927	0.43	1,245	-	
		1歳6ヶ月児健康診査事業	法定	636	1,521	0.30	640	1,581	0.25	643	1,894	0.33	644	-	
		2歳児歯科健康診査事業	単市	375	1,148	0.24	346	1,283	0.20	360	1,633	0.28	389	-	
		3歳児健康診査事業	法定	1,006	1,802	0.34	991	1,878	0.29	950	2,429	0.41	910	-	
		妊婦乳児健康診査事業	法定	11,818	10,247	2.37	20,200	12,780	2.02	23,273	13,317	2.24	26,831	-	
2 マザースクール事業	B	マザースクール事業	補助	2,657	1,431	0.22	2,653	1,632	0.26	2,630	1,925	0.31	2,646	-	
3 予防接種事業	B	予防接種事業	法定	45,205	1,576	0.31	47,802	3,038	0.45	59,447	5,712	1.72	130,871	-	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度			平成23年度	
				62,855	20,649	4.30	73,764	25,174	3.95	88,435	29,837	5.72	163,536	-	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に読み聞かせ

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じて事業を実施しているが、健診受診率は一番の基礎となる指標である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成としている。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		国庫補助制度の変更に伴う妊婦乳児健康診査の公費負担の検討 子宮頸がん等ワクチン接種事業が補助事業として開始されたが、今後の補助制度変更に伴う公費負担等の検討 マザースクール事業のあり方、体制について関係者で協議し、連携を図る。	
翌年度(H24年度)の取組目標		予防接種の内、定期接種となっているもの及び補助対象となるものについて、広報等で奨励し、接種率の向上を図る。 マザースクール事業について関係者と連携を図る。	
二次評価者コメント		役職 保健福祉部長 氏名 金光 亨	
		母子保健事業は、市民が行政サービスを受けるスタートになるもので、信頼関係を築く大切な事業である。各種事業の実施にあたっては、安心して利用でき、気軽に相談ができるよう引き続き努めていくこと。	
市長コメント		子育て支援の側面からも、市民(母子)の立場に立って事業を進めていく。	

基本施策への
貢献度

3 中立